

第12回 杉浦助成（杉浦地域医療振興助成）

応募122件（研究分野77件 活動分野45件）

〔趣旨〕

既に到来している超高齢社会、人生100年時代にあつて、「地域包括ケアの実現」とともに「健康寿命の延伸」が課題となっています。そこで、本財団では、医師、薬剤師、看護師等の医療従事者、及び介護福祉従事者等の多職種が連携して、「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の推進に寄与する研究や活動を助成します。

〔選考基準〕

倫理的配慮のもとに多職種協働の仕組みがあり、助成金の使途が適切で予算計上が妥当であるものを選考対象とします。

具体的には、下記の項目について採点します。

- 社会的意義があり、地域社会に貢献すること。（社会的意義）
- できるだけ多くの職種と地域住民の協働があり、かつ、その仕組みが優れていること。（多職種協働）
- 計画が実行可能であり、成果が期待できること。今までの実績も参考。（計画の実行性、成果に関する評価）
- 独創性があり、新しい試みや豊かな工夫が盛り込まれていること。（独創性）

- 継続的な展開を見込め、発展性があること。（継続性・発展性）

〔選考対象〕

研究分野では、「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」に関する研究で、実際に行っており、効果を検証しようとしているものを対象とします。活動分野では、「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」に関する住民参加型の活動で、既に行っている、またはこれから行おうとしているものを対象とします。多職種協働の範囲としては、保健・医療・福祉等の従事者間のものに限らず、行政、非営利団体、企業等との連携も可とします。

〔選考委員〕

選考委員長

荒井 秀典

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長

大原 弘隆

名古屋市立大学 医学部附属西部医療センター 病院長

齋藤 訓子

公益社団法人日本看護協会 副会長

高瀬 義昌

医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長

公益財団法人日米医学医療交流財団 理事

平井 みどり

神戸大学 名誉教授

京都大学 大学院医学研究科 特任教授

堀 美智子

医薬情報研究所株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者

岡田 啓

元 愛知医科大学 教授 兼 薬剤部長

株式会社スギ薬局 DI室

藤田 あゆみ

株式会社スギ薬局 人材開発部

松本 晴年

前 名古屋市立大学 薬剤部 調剤主査

※氏名五十音順／2023年6月現在